



## 2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 コンバム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

定時株主総会開催予定日 2022年3月25日

配当支払開始予定日

2022年3月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年3月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,469	13.1	546	60.7	576	61.1	402	64.5
2020年12月期	2,183	4.8	340	58.8	357	55.8	244	65.7

(注) 包括利益 2021年12月期 437百万円 (91.8%) 2020年12月期 228百万円 (15.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	258.77		8.2	10.5	22.1
2020年12月期	157.41	157.39	5.3	7.0	15.6

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 百万円 2020年12月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,693	5,140	89.7	3,281.58
2020年12月期	5,241	4,772	90.5	3,048.52

(参考) 自己資本 2021年12月期 5,108百万円 2020年12月期 4,745百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	542	532	69	1,841
2020年12月期	508	210	35	1,889

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		20.00		20.00	40.00	62	25.4	1.3
2021年12月期		25.00		25.00	50.00	77	19.3	1.6
2022年12月期(予想)		25.00		25.00	50.00		23.2	

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,203	5.1	247	4.6	261	5.2	180	1.8	116.02
通期	2,422	1.9	461	15.6	484	15.9	335	16.6	215.68

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	1,657,000 株	2020年12月期	1,657,000 株
期末自己株式数	2021年12月期	100,416 株	2020年12月期	100,416 株
期中平均株式数	2021年12月期	1,556,584 株	2020年12月期	1,555,995 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	1,997	8.1	505	50.2	551	50.4	381	47.2
2020年12月期	1,847	3.3	336	50.4	366	42.7	259	56.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	244.98	
2020年12月期	166.50	166.48

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,228	4,721	90.3	3,033.30
2020年12月期	4,825	4,400	91.2	2,826.79

(参考) 自己資本 2021年12月期 4,721百万円 2020年12月期 4,400百万円

< 個別業績の実績値との差異理由 >

設備投資需要の回復により、売上高が好調に推移し、前期実績を上回りました。利益面においては、販売費及び一般管理費の削減取り組みを推し進め、各段階利益のいずれも前期実績を上回りました。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、各国での積極的な新型コロナウイルスワクチン接種による、ウィズコロナを踏まえた経済活動の回復が顕著となり、各業界における設備投資が全般的に回復いたしました。しかし、新たな変異株による感染再拡大、急速な設備投資回復の影響による半導体部材の供給不足や各種原材料価格の高騰、各国間での物流の停滞も影響し、先行きの不透明な状況が継続しております。また、日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の急速な感染拡大の影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、半導体製造装置関連需要は、国内、アジアを中心に堅調に推移いたしました。食品機械業界、自動車関連業界、各種自動機関連においても、部材の高騰や半導体部品供給不足の影響は受けましたが、人手不足による生産設備自動化の需要を受け、堅調に推移いたしました。また、徐々に展示会を再開するなど、販売促進を強化し、電子部品及び半導体業界の需要に対応しながら、特にロボット関連製品の販売に注力してまいりました。開発面においては、真空吸着に特化した独自製品の開発と、主力製品の基礎研究を強化する取り組みを行い、電動化の推進と新素材及び新形状の吸着パッドの開発を進めました。

この結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、連結売上高は2,469,827千円（前年同期比113.1%）、連結経常利益は576,317千円（前年同期比161.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は402,793千円（前年同期比164.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

世界的な半導体需要の高まりを受け、メンテナンス需要を中心に大口案件の増加が顕著となりました。また、自動車及び食品機械関連需要も堅調に推移いたしました。販売面では、人手不足による生産設備の省人化、自動化の流れを背景に、ロボットハンド関連製品の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。開発面においては、環境に配慮した電気駆動の小型製品の拡充を進めてまいりました。この結果、売上高は1,751,541千円（前年同期比110.5%）となりました。営業利益については505,213千円（前年同期比151.2%）となりました。

（韓国）

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、不安要素はありましたが、半導体関連の需要が底堅く推移いたしました。一般産業機器の自動化装置向けに、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。この結果、売上高は455,843千円（前年同期比136.4%）となりました。営業利益については19,880千円（前年同期は19,783千円の営業損失）となりました。

（中国）

米国との関係性に継続的な不安要素はありながらも、全般的に設備投資は回復基調となりました。その一方で、自動車関連の生産体制縮小の影響を受けました。この結果、売上高は131,413千円（前年同期比91.5%）となりました。営業利益については11,174千円（前年同期比56.6%）となりました。

（その他）

タイ国内においては新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いました。タイ国周辺諸国では、半導体設備投資の拡大を受け、メンテナンス部品の需要が拡大しました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。この結果、売上高は131,030千円（前年同期比109.1%）となりました。営業利益については10,578千円（前年同期比171.5%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ10,350千円減少し、2,992,506千円となりました。これは主として、電子記録債権が84,737千円増加したのに対し、現金及び預金が45,719千円、受取手形及び売掛金が41,386千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ462,365千円増加し、2,700,916千円となりました。これは主として、有形固定資産が371,553千円、無形固定資産が66,716千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ452,015千円増加し、5,693,422千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ89,790千円増加し、400,006千円となりました。これは主として、未払法人税等が27,111千円、流動負債「その他」が55,192千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5,461千円減少し、152,888千円となりました。これは主として、退職給

付に係る負債が8,732千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ84,328千円増加し、552,894千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ367,687千円増加し、5,140,528千円となりました。これは主として利益剰余金が332,747千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は89.7%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べて48,277千円減少し、1,841,278千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益565,691千円に加え、減価償却費163,285千円、たな卸資産の減少額29,385千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額134,943千円、売上債権の増加額38,753千円等の減少要因により542,782千円の資金収入（前年同期は508,705千円の資金収入）となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出478,190千円、無形固定資産の取得による支出34,278千円等の減少要因により532,108千円の資金支出（前年同期は210,374千円の資金支出）となりました。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額69,792千円の減少要因により69,792千円の資金支出（前年同期は35,053千円の資金支出）となりました。

### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率	86.4	90.9	90.4	90.5	89.7
時価ベースの自己資本比率	85.4	61.2	62.5	51.2	61.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

(注) 1. 各指標の算出方法は以下のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、当社は有利子負債及び支払利息がないため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は足元では、半導体関連業界での新規設備投資や生産増によるメンテナンス需要が増加傾向にあります。しかしながら、引き続き新型コロナウイルス感染症の収束は見え、継続的な設備投資に関して慎重な状況は継続しております。日本経済においても、同様の状況となり、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の懸念を抱えた先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは真空吸着機器に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。各種生産設備の自動化需要を背景に、引き続き需要の増加が予想される、主力製品の吸着パッドについて、岩手事業所内に建設を行った新工場へ自動成形機を導入し、生産工程自動化の推進、生産効率の改善、品質の安定とコスト削減に取り組みます。開発面においては、近年のロボット需要の拡大に対応し、当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドの開発と環境に配慮した電動化製品の開発による将来を見据えた取り組みを継続してまいります。

次期の業績予想につきましては、連結売上高2,422,077千円、連結経常利益484,403千円、親会社株主に帰属する連結当期純利益335,731千円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する長期的な利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開及び経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、業績に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、経営基盤の強化を図りながら、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、市場ニーズに応える製品開発投資、グローバル戦略の展開を図るための投資、さらには、生産体制及びコスト競争力の強化のための設備投資に有効活用することを基本方針としております。

上記の方針を踏まえ、当期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金25円00銭に期末配当金25円00銭を合わせて50円00銭とする予定であります。(連結配当性向19.3%)

また、次期の配当は、1株につき中間配当金25円00銭、期末配当金25円00銭の年間配当金50円00銭を予定いたしております。(連結配当性向23.2%)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,005,509	1,959,789
受取手形及び売掛金	314,348	272,961
電子記録債権	220,777	305,514
製品	195,993	189,270
仕掛品	145,124	119,453
原材料	93,691	101,888
その他	27,813	44,097
貸倒引当金	△401	△469
流動資産合計	3,002,856	2,992,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,406,079	1,781,904
減価償却累計額	△801,812	△829,426
建物及び構築物（純額）	604,266	952,477
機械装置及び運搬具	1,041,088	1,134,445
減価償却累計額	△747,173	△789,060
機械装置及び運搬具（純額）	293,915	345,385
土地	701,876	702,152
その他	777,411	752,203
減価償却累計額	△667,708	△670,903
その他（純額）	109,703	81,299
有形固定資産合計	1,709,761	2,081,315
無形固定資産	68,248	134,964
投資その他の資産		
投資有価証券	368,854	394,138
繰延税金資産	5,760	5,685
その他	85,925	84,812
投資その他の資産合計	460,540	484,636
固定資産合計	2,238,550	2,700,916
資産合計	5,241,407	5,693,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,488	45,259
未払法人税等	87,935	115,046
賞与引当金	28,952	25,207
役員賞与引当金	—	10,460
その他	148,840	204,032
流動負債合計	310,216	400,006
固定負債		
退職給付に係る負債	145,408	136,675
繰延税金負債	24	1,834
その他	12,917	14,377
固定負債合計	158,349	152,888
負債合計	468,565	552,894
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	2,972,712	3,305,460
自己株式	△119,724	△119,724
株主資本合計	4,614,073	4,946,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,742	131,906
為替換算調整勘定	9,460	29,323
その他の包括利益累計額合計	131,202	161,230
非支配株主持分	27,564	32,476
純資産合計	4,772,841	5,140,528
負債純資産合計	5,241,407	5,693,422

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,183,479	2,469,827
売上原価	955,740	1,129,291
売上総利益	1,227,739	1,340,536
販売費及び一般管理費	887,512	793,689
営業利益	340,226	546,846
営業外収益		
受取利息	2,826	2,180
受取配当金	9,143	7,370
受取地代家賃	12,046	12,672
為替差益	—	8,630
その他	5,291	8,838
営業外収益合計	29,306	39,691
営業外費用		
売上割引	196	215
為替差損	1,695	—
不動産賃貸費用	1,635	1,610
減価償却費	7,564	7,571
その他	713	823
営業外費用合計	11,805	10,221
経常利益	357,728	576,317
特別利益		
固定資産売却益	274	859
特別利益合計	274	859
特別損失		
固定資産売却損	210	—
固定資産除却損	1,394	11,484
特別損失合計	1,605	11,484
税金等調整前当期純利益	356,396	565,691
法人税、住民税及び事業税	109,903	160,399
法人税等調整額	897	△2,493
法人税等合計	110,800	157,906
当期純利益	245,596	407,785
非支配株主に帰属する当期純利益	665	4,991
親会社株主に帰属する当期純利益	244,931	402,793

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	245,596	407,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,959	10,164
為替換算調整勘定	△1,406	19,782
その他の包括利益合計	△17,366	29,947
包括利益	228,230	437,733
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	229,042	432,821
非支配株主に係る包括利益	△812	4,911

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	748,125	1,002,571	2,789,767	△136,246	4,404,217
当期変動額					
剰余金の配当			△61,986		△61,986
親会社株主に帰属する当期純利益			244,931		244,931
自己株式の取得				△161	△161
自己株式の処分		10,388		16,683	27,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10,388	182,944	16,522	209,855
当期末残高	748,125	1,012,960	2,972,712	△119,724	4,614,073

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	137,701	9,389	147,091	1,810	28,377	4,581,497
当期変動額						
剰余金の配当						△61,986
親会社株主に帰属する当期純利益						244,931
自己株式の取得						△161
自己株式の処分						27,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,959	70	△15,888	△1,810	△812	△18,511
当期変動額合計	△15,959	70	△15,888	△1,810	△812	191,343
当期末残高	121,742	9,460	131,202	—	27,564	4,772,841

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	748,125	1,012,960	2,972,712	△119,724	4,614,073
当期変動額					
剰余金の配当			△70,046		△70,046
親会社株主に帰属する当期純利益			402,793		402,793
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	332,747	—	332,747
当期末残高	748,125	1,012,960	3,305,460	△119,724	4,946,821

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	121,742	9,460	131,202	—	27,564	4,772,841
当期変動額						
剰余金の配当						△70,046
親会社株主に帰属する当期純利益						402,793
自己株式の取得						—
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,164	19,863	30,027	—	4,911	34,939
当期変動額合計	10,164	19,863	30,027	—	4,911	367,687
当期末残高	131,906	29,323	161,230	—	32,476	5,140,528

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	356,396	565,691
減価償却費	196,235	163,285
有形固定資産除却損	1,394	11,484
有形固定資産売却損益(△は益)	△63	△859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	83	59
賞与引当金の増減額(△は減少)	△902	△4,154
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	10,460
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,839	△8,731
受取利息及び受取配当金	△11,969	△9,550
売上債権の増減額(△は増加)	30,109	△38,753
仕入債務の増減額(△は減少)	17,053	△3,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,772	29,385
その他	△12,915	△47,044
小計	543,491	667,818
利息及び配当金の受取額	11,969	9,550
法人税等の還付額	6,160	356
法人税等の支払額	△52,915	△134,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,705	542,782
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△110,229	△117,293
定期預金の払戻による収入	110,229	117,293
投資有価証券の取得による支出	△11,392	△10,662
有形固定資産の取得による支出	△170,039	△478,190
有形固定資産の売却による収入	852	958
無形固定資産の取得による支出	△29,795	△34,278
有形固定資産の除却による支出	—	△9,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,374	△532,108
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△161	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	26,812	—
配当金の支払額	△61,705	△69,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,053	△69,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,651	10,841
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	260,625	△48,277
現金及び現金同等物の期首残高	1,628,930	1,889,555
現金及び現金同等物の期末残高	1,889,555	1,841,278

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、真空機器関連製品の専門メーカーとして、真空機器及び真空機器関連製品等の製造・販売を行っており、国内においては当社が、海外においては韓国、中国及びその他に所在する子会社が、事業活動を展開しております。

当社では、経営管理区分上、各子会社を地理的近接度等によって区分、集計し業績の評価を行っております。

したがって、当社グループのセグメントは、主に製造・販売体制及び量的規模を勘案した地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「韓国」、「中国」の3つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,585,705	334,124	143,593	2,063,422	120,057	2,183,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	261,362	94,215	—	355,578	—	355,578
計	1,847,067	428,339	143,593	2,419,001	120,057	2,539,058
セグメント利益又は損失(△)	334,103	△19,783	19,737	334,058	6,168	340,226
セグメント資産	4,825,162	361,506	112,630	5,299,300	103,561	5,402,861
セグメント負債	425,030	40,065	28,019	493,115	35,991	529,107
その他の項目						
減価償却費	188,364	4,459	2,709	195,534	701	196,235
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	145,239	2,086	1,603	148,929	315	149,244

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,751,541	455,843	131,413	2,338,797	131,030	2,469,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	245,811	93,688	—	339,499	—	339,499
計	1,997,352	549,532	131,413	2,678,297	131,030	2,809,327
セグメント利益	505,213	19,880	11,174	536,268	10,578	546,846
セグメント資産	5,228,168	396,248	111,548	5,735,965	120,390	5,856,355
セグメント負債	506,580	36,077	27,721	570,379	40,606	610,985
その他の項目						
減価償却費	155,418	4,772	2,412	162,603	681	163,285
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	594,289	5,458	—	599,747	5	599,752

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該金額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,419,001	2,678,297
「その他」の区分の売上高	120,057	131,030
セグメント間取引消去	△355,578	△339,499
連結損益計算書の売上高	2,183,479	2,469,827

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	334,058	536,268
「その他」の区分の利益	6,168	10,578
セグメント間取引消去	—	—
連結損益計算書の営業利益	340,226	546,846

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,299,300	5,735,965
「その他」の区分の資産	103,561	120,390
セグメント間取引消去	△161,454	△162,933
連結貸借対照表の資産合計	5,241,407	5,693,422

(単位：千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	493,115	570,379
「その他」の区分の負債	35,991	40,606
セグメント間取引消去	△60,541	△58,091
連結貸借対照表の負債合計	468,565	552,894

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	195,534	162,603	701	681	—	—	196,235	163,285
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	148,929	599,747	315	5	—	—	149,244	599,752

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	3,048.52円	3,281.58円
1株当たり当期純利益金額	157.41円	258.77円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	157.39円	—円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	244,931	402,793
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	244,931	402,793
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,555	1,556
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	0	—
(うち新株予約権) (千株)	(0)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	4,772,841	5,140,528
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	27,564	32,476
(うち新株予約権) (千円)	(—)	(—)
(うち非支配株主持分) (千円)	(27,564)	(32,476)
普通株式に係る純資産額 (千円)	4,745,276	5,108,051
普通株式の発行済株式数 (千株)	1,657	1,657
普通株式の自己株式数 (千株)	100	100
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	1,556	1,556

(重要な後発事象)

該当事項はありません。